国際ロータリー第2790地区
The Rotary Club of Yachimata
八街ロータリークラブ週報

http://www.joy.hi-ho.ne.jp/yachimatarc/

例会場 八街商工会議所 3階 大ホール
毎週水曜日 12:30～13:30
電 話 043 - 443 - 3021
FAX 043 - 443 - 7221
創立 1966年(昭和41年)5月22日

イマジン
ロータリー

RI会長：ジェニファーE. ジョーンズ
Windsor-Roseland RC (カナダ)

会長 竹村 信彦 ・ 会長エレクト 小久保 和子 ・ 副会長 川崎 尭信 ・ 幹事 川崎 尭信

第57巻 第13号 通巻 第2658号 2022. 12. 7発行

国際ロータリー第2790地区2022-2023年度
小倉純夫ガバナー公式訪問

八街ロータリークラブ・富里ロータリークラブ合同例会



第2657回　2022年11月30日例会報告

【出席報告】

例会	出席計算会員数	出席	欠席	出席率%	MU	修正出席率%
11/ 30	23	15	8	65.22		
11/ 2	25	18	7	72	4	88

会員総数　25名

（ 名誉会員　3名　・ 出席免除会員　3名 ）

通算出席率　82.14%

11/2 メークアップ4名・小久保会員、川崎会員
鈴木会員（理事会）・木村会員（情報研修会）

点　　鐘　　富里ロータリークラブ会長
宮内美津男様

国歌斉唱　　君 が 代

ソ ン グ　　奉仕の理想

唱　　和　　四つのテスト

お 客 様　　第2790地区ガバナー
小倉純夫様（松戸RC）

第2790地区幹事長
織田信幸様（松戸RC）

地区インターアクト委員長
久佐野 博史様 （松戸RC）

第10グループガバナー補佐
林　康博様（成田ｺｽﾓﾎﾟﾘﾀﾝRC）

第10グループガバナー補佐幹事
加瀬 邦雄様（成田ｺｽﾓﾎﾟﾘﾀﾝRC）



【会長挨拶】　　会長　竹村 信彦



本日は富里ロータリークラブさんとの合同でガバナー公式訪問となります。富里クラブの皆さまには会場手配を含め、大変お手間をおかけしまして、感謝申し上げます。

小倉ガバナーならびに織田地区幹事、地区委員の久佐野委員長、第10グループの林ガバナー補佐、加瀬補佐幹事に、ご来駕いただいております。歓迎申し上げます。この後、小倉純夫ガバナーには卓話と、クラブ協議会では私ども両クラブが抱える諸課題へのアドバイスと激励をいただけることと存じます。いただいた内容を皆で共有し、実践し、ロータリーを楽しみながら、先ずは地域で良いことをしてまいりましょう。それを地域の方に認知していただくことで、将来の私どもクラブの発展に繋がるものと信じております。今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

今後も富里クラブさんとの交流、親睦を楽しみながらお付き合いしてまいりたいと思います。よろしくお願い申し上げます。



【卓　　話】　国際ロータリー第2790地区 ガバナー小倉純夫様



これからのロータリーを考える ～本年度RIテーマと地区活動方針について～

1 本年度RIテーマと地区活動方針について ・2022年度RI会長ジェニファー・ジョーンズ氏(RI初の女性会長）は，本年度テーマをIMAGINE ROTARY（イマジン ロータリー）として、「より良い未来をイマジン（想像）し、世界によ り良い変化を！」と呼びかけた。これを受けて次年度地区スローガンとして次のとおり決定。 「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ，千葉から世界を変えてゆこう！」 ・従来考えていた地区スローガン「ロータリーを楽しみながら，地域で，そして世界で良いことをしよう！」は，第2スローガンとする。 ロータリーの基本は親睦(fellowship)と奉仕(service)

2 ガバナーの任務・役割について ・クラブの活性化，元気なクラブ作りの支援に尽きる→その為のDLP，CLPの活用→クラブ，会員が 主役→クラブの課題とその分析→解決策の検討（ビジョンと行動計画） ・グループ再編問題，ガバナー補佐任命問題を通じて考えたこと 地区とクラブとのコミュニケーションの在り方，信頼関係の再構築 職業奉仕の大切さ（四つのテスト），クラブの例会における親睦活動の大切さの再確認例会は心の オアシス（佐藤千寿氏） ・コロナ禍の中でのロータリー活動（パンデミックの教訓） 2年半に及ぶ新型コロナウイルスの感染拡大→収束の見通し立たず（第7波の到来） →クラブ例会・行事等の中止（又はオンライン化）→親睦奉仕活動の停滞，会員の減少 →最近の感染者激増→コロナとの共生（会員の支援例会・親睦活動の在り方の再検討）

3 ロータリーの歴史を振り返る ・1905年→親睦と相互扶助から出発（一業種一会員制）→社会奉仕の考え→四（五）大奉仕へ ・ロータリーとは、 職業倫理を重んずる実業人，専門職業人の集り（ロータリーの友6頁） ・ロータリーの目的，理念→「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し，これを育むこと」「奉仕 の理念」とは→他人を思いやり，他人の為になることをしようとする考え方 セントルイス大会決議 23-34 ロータリーの奉仕の基本理念の確立 ・ロータリーの魅力とは、一つの人生哲学「入りて学び出でて奉仕せよ」 (Enter to Learn, Go forth to Serve) 例会（親睦） →出会い，交流（切磋琢磨）→人間としての成長＝信用→安定した経営奉仕の実践 ・日本のロータリーは周回遅れか？（ガラパゴス化） Vocational Service（職業奉仕）に対する考え方の違い⇔「奉仕の理念」

4 ロータリーの変化とその対応 ・2001年：一業種一会員制の撤廃 2013年：職業のない人の入会資格を認める ・ロータリーのライオンズ化（団体寄付中心）I serveから）We serveへ ・2016年の規定審議会一柔軟性の採用 {例会と出席} {会員身分} 標準ロータリークラブ定款の条項に従わない規定又は要件 をクラブ細則に含めることができる ・2019年規定審議会 更なる柔軟性の確認 メークアップ期間を同じ年度内に拡大，職業分類の制限撤廃，ローターアクトクラブに RI加盟を認める ・何故ロータリーは柔軟性を採用したのか？→RIの危機感（会員の高齢化，減少）→北米，日本等 での会員の減少とインド，ヨーロッパ，韓国での会員増加（別紙）→悪循環か？ RIとTRFの一体化→ {·いずれライオンズクラブとの合併か？・地域に応じた自治権，裁量権を 認める方向？

5 これからのロータリーについて ・ロータリーの目的，四つのテスト，中核的価値観（親睦，奉仕，高潔性，多様性，リーダーシップ） は不変 ・ロータリーのビジョン声明，行動計画，DEI（多様性，公平性，包摂性）の提唱 ・未来の形成委員会(SRF)→地区制度の見直し→内容は不明確（北米の会員の急減が 実施の理由 か） 2つのパイッロット地区で実施（2022年4月規定審議会決議）

6 アフターコロナの新しいロータリーはどうあるべきか →例会及び奉仕活動の在り方クラブの多様化→衛星クラブ，女性だけのクラブ，若者や老人 だけのクラブ等 元気なクラブ作りの支援のための方策→元気なクラブとは？→CLPの活用 1、クラブの中長期目標とその

実現のための行動計画の策定（毎年の見直しとチェック） 2、会員同士の交流を深める（クラブ内のオープンなコミュニケーション・DEIの浸透を図る） 3、会員の積極的参加を促す（例会，奉仕活動）財団の補助金を利用して会員全員で奉仕 プロジェク トを策定し，奉仕の意識を養い，それを実行する→参加したくなる例会と奉仕活動 4、会員の増強（退会防止）若い人達の入会が無ければロータリーは消滅する 5、クラブの若手リーダーの育成→クラブのロータリー研修の実施 6 、ICTの推進（コロナ禍での例会の在り方を再考する）

【クラブ戦略計画(2022～27年)の説明】

会長 竹村 信彦



1. ビジョン(ポリシーメッセージ)

半世紀の歴史と伝統を守り、親睦と奉仕活動を実践する。年齢性別などを問わず多様性のある会員が集い、クラブに対し共通の意識を持って健全な運営を堅持するとともに、SDGｓを取り入れた活動により地域社会に貢献するクラブを目指します。

2. 会員数の目標・維持・拡大

2027年度までに会員総数33名以上、
その内女性会員は5名以上を目標とする。

2027年度　会員総数33名、
うち女性会員5名（15.15%）

2022年度　会員総数25名、
うち女性会員2名（8.0%）

3. 例会

例会を通じて楽しく・有意義かつ秩序ある時間を共有して成長していく。

ぜひ参加したいと思える例会づくり。
会員の都合も考慮し、時間や会場などにバリエーションを持たせる。
オンライン参加も検討。

4. 広報・公共イメージ

外部への広報の手段は、主としてSNS活用による。それによってロータリーのPR・イメージアップを図る。

ホームページ、フェイスブックを活用中。

外部にPRできるような奉仕活動の実施と、新聞などメディアを通じての広報。

5. 奉仕活動

インターアクトクラブ・他の団体と共同で環境に関連した活動を少なくとも年1回実施する。

現在は8月八街ふれあい夏まつりにダーツゲームの出店。
（コロナ禍で中止）

以前は産業まつりでチャリティバザーを実施していたが、別の奉仕活動（中学生向けのドローン講座）に変更。
（未実施：コロナ禍で中止）

千葉黎明高校インターアクトクラブと協働の継続的な奉仕活動を検討。

6. ロータリー財団・米山奨学会

地区目標額に全会員達成を目標とする。米山世話クラブは積極的に受け入れる。

秀明大学3年生ベトナムの、ド・チャン・ティ・トゥイさんを受け入れ中。例会だけでなく、他の行事にも参加していただいている。

7. ＲＬＩ・地区委員への参加

毎年1名以上ＲＬＩに参加する。
地区委員は2名以上推薦する。
今年度、次年度ともに青少年委員1名。

8. ガバナー補佐

2027年度までにはふさわしい会員を選出できるよう備えることとする。

9. 確認と見直し

目標に向けた進捗を確認し、達成できなかったその理由を特定する。行動計画を見直し、調整する。

毎年PDCAサイクルを回し、達成に向けて進める。
期中においても、理事会で進捗状況の確認を行う。

2027年の八街ロータリークラブの姿を、会員全員でイメージしながら、目標を達成します。

【グループ討論会】

Aグループ代表　小久保 和子会員



テーマ：例会の充実
（食事の時間について）

八街RCの現在の出席率は82，14％です。
12時30分に例会を開始してから食事になり12時45分位から再開します。

・食事と例会別が良い
・卓話の時間が短くて途中で終わってしまうのが残念
・12時30分に食事が終わったとしても１時間も充実した内容の例会ができるのか
・会員の中にはライフサイクルができあがっており変更は難しいのでは
・卓話しても一方通行なのでその後にディスカッションを持っていきたい
・異業種の卓話はとても参考になる

等の意見がありました。これからの例会のあり方を全会員で話し合えたら良いと考えております。例会が充実していれば、それが会員増強につながるのではないかと思いました。

【グループ討論会】

Bグループ代表　川崎 尭信幹事



テーマ：「会員増強」

八街ロータリークラブは２つのグループに分かれ「会員増強」「例会の充実」というテーマのもとグループ討論を行い「会員増強」グループでは以下のような意見が述べられました。

・２０２７年までに会員総数３３名以上を目標として掲げているが、その間の退会者も考慮すると年間２～３名の新会員の入会が必要である
・親や先代がロータリアンであった２世や３世を積極的に勧誘したい
・商工会議所や法人会経由で候補者を探して行きたい
・職業分類を活用し抜け落ちている職業から候補者を探して行きたい
・一度や二度断られても挫けず積極的に勧誘するべきである
・ワーキンググループを立ち上げて会員増強の為の基礎づくりから始めたら如何か
・会員増強するには例会の充実も大切である（卓話時間の確保、例会会場や食事時間の見直し等）
・食事に訪れるだけではなく、会員同士の交流や情報交換が大切である
・誰もが入会したいと思えるクラブを目指す

以上のように様々な意見が挙げられ、参加した各会員も「会員増強」に向け決意を新たにしたグループ討論となりました。

【ガバナー講評】

第2790地区小倉 純夫ガバナー



八街ロータリークラブの小久保さんの発表ですが、私もこのテーブルに立ち会っておりまして色んな議論を聞いておりましたけれども、食事の時間と卓話の時間を充分に取り、例会に出席して頂いた意義を充実させると言う事なのですが、大変重要な事だと思いますが、うちの松戸ロータリークラブでは八街クラブと同じように例会中に12時45分まで食事をして、会長挨拶があって 幹事報告があってその後卓話がある。第一例会なんかは色んな行事があってなかなか卓話が取れないと言う事があるのですがそれは臨機応変にやっていただくという事で、12時から1時間卓話をしてそれに合わせて皆さんに来て頂くというのはなかなか難しいと思います。なんとか時間を工夫すればその1時間の中で十分できるのではないかと思います。

行事が多い時には少し会長挨拶を短くするとか工夫をしてやって行ってはどうか、1時間の中で時間を有効に使うのが良いのではないでしょうか。

それから川崎さんの会員増強について、会長幹事懇談会でも申し上げたのですが、一回だけではなくて例えば会員増強の委員長さんが1人で行って進めるだけではなくて、全部の会員が会員候補者の情報を共有して、何度もその人を会員勧誘して行くと、そう言う事によって会員増強が図れるのではないかと、それから退会者とか。例えば「俺、八街ロータリークラブなんて嫌だよ」という人は別ですよ。コロナの関係で今見合わせて一時的に辞めてしまったという人もいるんではないかなと思いますからそう言う人には是非退会者の方にももう一度声をかけて頂くとか、それから2世3世の方にも声をかけて頂くとか。それから商工会議所に色んな会員を紹介してもらう、職業分類を使う。非常に有効な方法だと思います。ただこれを実際に危機感を持って実践して頂かなくてはいけないと。ただ単に掛け声だけでは無くて、実際にこれを実践して頂くと、これによって当初ビジョンにもありましたけれども、27年まで33名の会員を増やすという事が実行できるのではないかと、こういう風に思いました。私の考えているクラブというのは、前に活動計画書にも書いてあるのですけれど、やっぱり両クラブとも立派なビジョンをお持ちなので、これを実際に行動計画、あるいは戦略計画と言ってもいいのですけれども、それを着実に実行していただければ更なる例会の充実、そして会員増強に繋がって行くのではないのかなと言う風に思いました。

皆さんの発表、大変素晴らしい発表でしたので、短期間の間にまた議論して頂いて、大変充実した時間ではないかなと思います。どうもありがとうございます。







広報・公共ｲﾒｰｼﾞ向上委員会
萬来 謙一・小澤 孝延